

4. 区立特別支援学級

特別支援学級は、特別な支援を要する児童・生徒が毎日通って学習する学級です。知的障害や自閉症・情緒障害のある児童・生徒に対し、一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を行うため、少人数で学級が編制されています。自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行います。

(1) 知的障害特別支援学級での取組

朝の会・帰りの会

朝の会では、あいさつ、予定の確認などを行い、見通しをもって一日をスタートできるようにします。

帰りの会では、楽しかったことや努力したこと等を発表し、一日の振り返りをします。また、明日の学習に必要な持ち物の確認なども行います。

小

日常生活の指導

児童の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動について学習します。

衣服の着脱、洗面、手洗い、排泄、食事、清潔など基本的生活習慣の内容やあいさつ、言葉遣い、礼儀作法、時間を守ること、きまりを守ることなどの日常生活や社会生活において、習慣的に繰り返される必要で基本的な内容について扱います。

小

作業学習

作業学習では、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会生活に向けて基盤となる資質・能力を育むことができるようにしています。

中

生活単元学習

児童・生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際・総合的に学習するものです。

生活単元学習では、各教科の目標や内容を横断的に学習します。

例えば、「カレーライスを作ろう」という単元では、カレーライスのパッケージを見て一人前のジャガイモの数を確認して今回の調理で何個必要かを計算したり、スーパーマーケットまでの道のりで地図記号の学習をしたりします。買い物場面では、お金の学習をするよい機会になります。また、学級園で育てた野菜を使用してサラダを作る場合もあります。この場合は、算数科、社会科、理科、家庭科の目標や内容を扱っていることになります。

小 中



小 中

教科学習

個別・グループ・学級全体の学習を組み合わせで行っています。

例えば、国語・算数（数学）は、本人の習得度に即した課題を設定しています。

また、音楽の授業など学級全体で行う学習活動であれば、担当する楽器や演奏する譜面を一人ひとりの児童・生徒の実態に合ったものにすることなどの工夫をしています。

友達と共に学ぶ楽しさを味わいながら、一人ひとりの力が伸長するように促します。自立し社会参加するために必要な力を身に付けることを重視しています。

小 中

合同行事

5月に小学校の合同遠足があります。事前学習でオンライン交流会をしたり、公園で一緒に遊んだりする中で、他校の友達と交流を深めます。

6月に小学校の4～6年生は2泊3日の合同移動教室を行います。自分の身の回りのことを行うこと、他校の友達と交流を深めること、豊かな自然体験をすることをねらいとしています。

10月に小学校・中学校合同の運動会を行います。徒競走を小学校・中学校別に行ったり、一緒に競技を行ったりします。中学生は事前練習会を行い協力して演技をしたり、小学生は先輩の活躍を見ることを楽しみにしたりしています。

小 中

自立活動

障害による学習上又は生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知識技能を身に付けることを目標としています。

港区では、言語指導員を配置し、特に、場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるように、相手に伝えようとする内容を広げ、伝えるための手段を育んでいくことを大切にしています。

小 中

通常の学級との 交流及び共同学習

全校朝会などの日常的な場面、運動会などの行事・ゲストティーチャーによる授業など体験的な学習については、学年の一員として学習する機会を設けています。中学校では、移動教室や修学旅行にも参加しています。

お子さんの実態によっては、教科で継続的な交流及び共同学習を行う場合もあります。

知的障害特別支援学級の時間割(小学校の例)

	月	火	水	木	金	土
1	朝の会 朝体育	朝の会 朝体育	朝の会 朝読書	朝の会 朝体育	朝の会 朝読書	朝の会 朝体育
2	音楽	生活単元学習	音楽	国語・算数	国語・算数	国語・算数
	中休み					
3	体育	国語・算数	言語指導	体育	生活単元学習	国語・算数
4	国語・算数	図書 1～3年	国語・算数	言語指導	国語・算数	図工 1～3年
	給食・昼休み・掃除					
5	国語・算数	図書 4～6年	国語・算数	言語指導	生活単元学習	国・算 1～3年
6	クラブ・委員会 4～6年		国語・算数	言語指導	国語・算数 4～6年	図工 1～3年

※上記は一例になります。実際には就学予定の学級に詳細をご確認ください。

企業と連携したキャリア教育の推進

港区では、企業と連携したキャリア教育を推進しています。

知的
小

企業による出張授業（小学校）

知的障害特別支援学級では、企業による授業を実施しています。

過去の体験例：コンビニエンスストアの接客を通して、あいさつと身だしなみが大切であることを意識して、コミュニケーションの取り方を学ぶ。フードロス削減への企業の取組を学ぶとともに、コーヒー焙煎業務や防臭剤づくりの実際の業務を体験することを通して、社会や働くことへの興味関心を高めるなど。

知的
中

ワーク・チャレンジデイ（中学校）

中学校では、知的障害特別支援学級の生徒を対象に障害者を雇用している企業などの職業体験を実施しています。各学級にて事前・事後学習に取り組みながら、実際の企業の方を教育センターに招き、様々な体験プログラムを実施しています。体験するだけではなく、社員の方から働くことの意味や社会に貢献することの大切さ、中学校時代に取り組んでおくとういことなどを伝えています。

また、体験後に保護者説明会を実施し、企業における就労の実際を紹介する機会を設けています。

令和6年度は、令和6年11月19日（火）に実施を予定しています。

過去の体験例：CM制作体験、ハーブティー製作、セミナー講師体験、照合・検品作業、プログラミング体験、受付や来館者の誘導業務など。

幼小中
全員

キャリア教育講演会（保護者）

港区の特別な支援を必要とする児童・生徒に対するキャリア教育の概要を伝えています。また、特別支援学級等を卒業して実際に企業に就労した方から、小中学校時代を振り返って思うことや現在感じている働くことの意義や楽しさなどについて、保護者の方に就労へのイメージをもってもらえるようにお話ししています。

また、港区障害者福祉課やみなと障がい者福祉事業団から港区の就労支援についても説明しています。

令和6年度は、令和6年12月13日（金）に実施を予定しています。

(2) 自閉症・情緒障害特別支援学級での取組

自閉症・情緒障害特別支援学級は、知的発達に遅れのない自閉症等の生徒を対象に、少人数・異学年の生徒で編成される学級です。通常の中学校の教育課程に準じて、各教科及び領域で指導を行うとともに、特性による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための自立活動の時間を設定して指導を行います。

港区では、赤坂学園赤坂中学校に設置されています。

対象となる障害の程度の目安 → 33ページ

自立活動の指導

生徒の発達の状態や実態に応じて基本的な生活習慣を確立し、自立して生活する能力を育むこと、コミュニケーションの能力を高めること、社会性を身に付けることを自立活動の時間と関連させて指導していきます。

「自立活動」は、①健康の保持、②心理的な安定、③人間関係の形成、④環境の把握、⑤身体の動き、⑥コミュニケーションの6区分27項目の中から、生徒の障害の状態や発達の程度等に応じて必要な内容を選択し、選択した項目を相互に関連付けて指導します。また、学校生活全体の活動の中でも取り組みます。

各教科の指導

教科の指導では、通常の学級の各学年の年間における指導計画に基づき、自閉症や情緒障害の特性に応じて個別指導計画を作成し、通常の学級と同じ学習内容の習得を図ります。

各教科、道徳科、特別活動等については、児童の発達段階や障害の特性を考慮しながら、通常の学級との交流及び共同学習を進めます。

交流及び共同学習

通常の学級の教科学習や健康・体育的行事、文化的行事、集団宿泊的行事への参加も視野に入れ、通常の学級の生徒と共に活動します。

いろいろな人と関わる中で、社会性や協調性、困ったときの援助希求の方法を学び、日常生活でも活かせるようにします。